

令和元年度 第2回学都仙台コンソーシアム運営委員会議事要録

1. 日時

令和元年12月17日(火) 10時32分～11時31分

2. 場所

宮城学院中学校・高等学校第二会議室(中高棟3階)

3. 出席者

川上伸昭運営委員長(宮城大学)、李東勲副委員長(石巻専修大学)、
佐直信彦副委員長(仙台青葉学院短期大学)、赤坂和昭委員(尚絅学院大学)、
木村昭代委員(聖和学園短期大学)、芳賀茂氏(仙台白百合女子大学)(小嶋文博委員代理)、
石橋雅弘氏(仙台大学)(高橋仁委員代理)、千葉昭彦委員<企画部会長>(東北学院大学)、
小祝慶紀委員<復興大学部会長>(東北工業大学)、北折整委員(東北生活文化大学・短期大学部)、
藤王勉委員<広報部会長>(東北大学)、松本祥子委員(東北福祉大学)、
山田春文氏(東北文化学園大学)(貝山道博委員代理)、多田晴観委員(東北医科薬科大学)、
泉谷寿志氏(宮城学院女子大学)(戸野塚厚子委員代理)、
岡正明委員<サテライトキャンパス部会長>(宮城教育大学)、村上金男委員(宮城誠真短期大学)、
武田淳子委員<単位互換部会長>(宮城大学)、山木幸一委員(放送大学宮城学習センター)、
馬場一隆委員(仙台高等専門学校)、大沼由香委員(仙台赤門短期大学)、
新妻直樹委員(宮城県)、芝千紘氏(仙台市)(郷湖伸也委員代理)、中村芳朗委員(仙台観光国際協会)、
押谷祐子委員(東北多文化アカデミー)、青沼廣利委員(みやぎ工業会)

以上 「順不同」

(委員数 29 名 / 出席数 26 名)

4. 定足数の確認

事務局より、本会規約により本運営委員会は成立する旨の報告があった。

5. 議事

◆審議事項

なし

◆報告事項

1. 各事業部会の活動報告について

【単位互換部会】

武田部会長から、配付資料に基づき、部会活動状況、後期単位互換開講科目の派遣・受入状況、前期単位修得状況などについて報告がなされた。

- ・現時点で、去年総計より1.5倍以上の単位互換派遣及び、受け入れが行われている。
- ・国内協定校の交換留学生から単位互換科目受講の希望があった。学都仙台コンソーシアムとして前例がないため、10月の部会で受け入れについて審議された。各大学間の調整や規程整備が必要となるため、次年度の実施は難しいとされたが、単位互換活性化の面からも、今後検討を進めたい。

【サテライトキャンパス部会】

岡部会長から、配付資料に基づき、公開講座の実施状況、年度内の実施計画などについて報告がなされた。

- ・ 12月10日現在の後期講座の受講者は857名と、昨年度よりも既に上回っている。
- ・ 緊急時の公開講座運営について、10月の台風時は主催校で中止の判断をしたが、今後同様の事態が発生した場合の運営ルールについて、部会において今後検討する。

【広報部会】

藤王部会長から、配付資料に基づき、ウェブサイトの更新、広報サポートスタッフの活動状況、学都仙台コンソーシアムリーフレット作成・配布状況などについて、報告がなされた。ウェブサイトは7月5日にスマートフォン対応のリニューアル版が公開され、学都仙台コンソーシアムリーフレットについては例年同様8,000部を作成し、各機関へ配布したとのこと。

【企画部会】

千葉部会長から、配付資料に基づき、教員免許状更新講習システム共同事務サーバーの運用状況、FD・SDに関する研修などの情報提供について報告がなされた。また、仙台経済界の大関氏（陪席）から、イオンモール雨宮のリカレント教育施設としての活用の検討について、立教セカンドステージ大学、首都大学東京プレミアムカレッジの取材報告がなされた。運営にあたる専任職員の必要性、専門コースの設定などが課題となりうるが、高齢人材の利活用にもつながる重要なプロジェクトとして、今後の組織作りが重要とのこと。

【復興部会】

石川部会長から、配付資料に基づき、部会開催、宮城県からの補助金交付状況、復興大学4事業の活動状況などについて活動報告がなされた。

- ・ 教育復興支援事業では、被災地学習支援および教員補助ボランティアとして延べ239名を派遣した。
- ・ 宮城県からの補助金の存続について質問がなされ、宮城県新妻委員より、来年度については支給が決定しているが、その後に関しては支給しない方針であり、コンソーシアム独自の取り組みとして検討していたきたいとの回答がなされた。

2. 後援名義等使用の事業報告書について

事務局より、国立研究開発法人理化学研究所の【国立研究開発法人理化学研究所仙台地区一般公開】、公益社団法人仙台青年会議所の【第12回例会 仙台 JC 防災フェス～市民が繋がる防災都市づくり～】について、事業終了の報告があった。

3. 令和2年度事業計画および予算の作成について

昨年同様1月10日（金）を締め日とし、各部会担当者へメールで連絡することが告知された。

◆その他

1. 第3回運営委員会、第28回定期総会の日程を年内中に決めるために、協力依頼がなされた。

以上